

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）
プラスドライバー

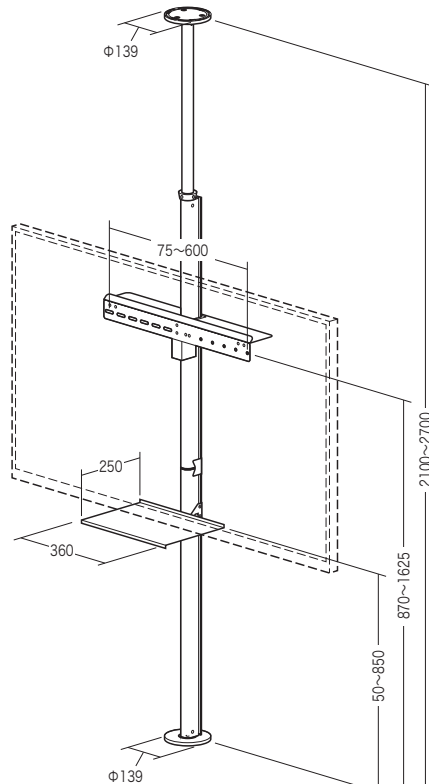
必ずお守りください

**本製品の取付けには特別な技術が必要ですので、
必ず専門の取付け工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。**

※販売店様・工事業者様へ

- 取扱説明書をよく理解していただいたうえで取付けてください。
- お客様の安全のため、専門的に床面、天井を診断のうえ、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて取付けてください。
- 作業は必ず大人二人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。
- 取付け不備や取扱い不備による事故や損傷については、弊社は責任を負いません。
- 本製品を設置後、撤去しますと床面、天井に取付けボルト、アンカーが残ります。ご了承ください。

65型以下で重量30kg以下のテレビ専用です。



耐荷重 30kg

■ 安全上のご注意 (必ずお読みください)

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⊘ この記号は「してはいけないこと(禁止)」を示しています。

Ⓜ この記号は「必ず実行して欲しいこと(強制)」を示しています。

⚠ この記号は「気をつけてほしいこと(注意)」を示しています。

■ 取付け場所について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ⊘ 強度が不十分な場所、水平・平面でない床面、天井には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 振動の多い場所や、ドアや家具が当たるなどの力の加わる場所には取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 湿気、温度の高い場所や、屋外、油煙のあたる場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ エアコンの近くやほこりの多い場所には取付けしないでください。火災、故障、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 通風孔をふさぐような場所には取付けしないでください。火災、故障、感電または落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 床面、天井はテレビと本製品を合わせた荷重に長期間耐える十分な強度が必要です。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 地震や予想される振動、外力にも十分耐えるように設計し、取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 必ず堅牢な芯材で荷重を受けるように取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 床面、天井への取付けボルト類は付属してありますが、材質や強度によって不都合な場合があります。その場合は強度に十分ご注意のうえ、市販の適切なボルト・アンカー類をご用意ください。
- ⚠ 床面、天井にはテレビの重量の4倍の力に耐える強度が必要です。

注意 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性
または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。

- Ⓜ 各家庭によって床面、天井の構造や強度は異なります。工事業者様が専門的に床面、天井を診断のうえ、最適な取付け方法を決めて工事してください。
- ⚠ 本書に記載してある取付け方法は一例として参考にしてください。
- ⚠ 鉄柱や鉄骨には取付けできません。

■ 取付け方法について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

- ⊘ 65型以上、重量30kg以上のテレビを取付けしないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 専門の取付け工事業者以外には取付け工事を行わないでください。工事の不備により、落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ 部品の改造をしないでください。破損した部品・ボルト類は使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 指定しているボルト類や固定具は全数を確実に取付けてください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 必ず付属の部品をご使用のうえ、取付け手順を守ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 取付け作業は必ず大人二人以上で行ってください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 取付け作業中はテレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。破損、感電など思わぬ事故の原因になります。
- ⚠ 部品やテレビに手や指などを挟まないようにご注意ください。

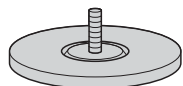
■ 取付け後のご使用について

警告 下記の内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡
または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

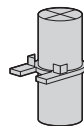
- ⊘ ボルト類がゆるんだ状態で使用しないでください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- ⊘ ぶら下がったり、コードを引っ張るなど、荷重をかけないでください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 高さの調整、取外し、移動などは必ず専門の工事業者にご依頼ください。落下や破損、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ 異常が発生した時は電源プラグを抜き、人が近寄れないよう処置をしてください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。
- Ⓜ お子様に触れさせないよう十分ご注意ください。落下や破損、感電、けがなど思わぬ事故の原因になります。

組立て部品

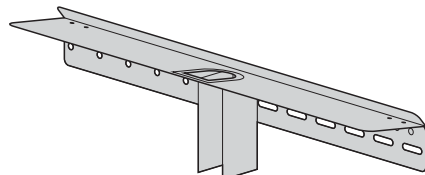
※部品の欠品や破損があった場合は、品番（100-PL018など）と下記の部品番号（①～⑳）と部品名（ワッシャーなど）をお知らせください。



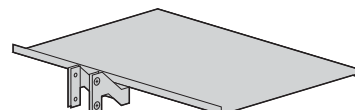
①ベースA×2個



④ジョイントD×1個



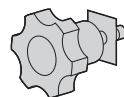
⑤ブラケットE×1個



⑥ブラケットF×1個



⑦ストッパーG×1個



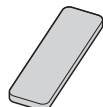
⑧ツマミH×1個



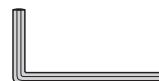
⑨ケーブルホルダーI×3個



⑩連結金具J×1個



⑪傷防止シートL×1枚



⑫六角レンチM×1本



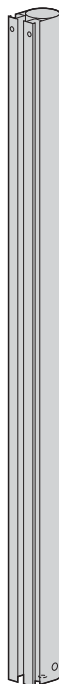
⑬テレビ用ワッシャーM-F×2枚



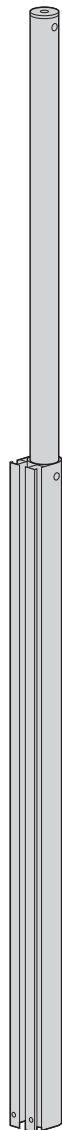
⑭スペーサー(小)M-G×4個



⑮スペーサー(小)M-H×4個



②支柱(下)B×1本



③支柱(上)C×1本

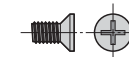


⑯アンカーW-B×6本

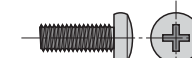


⑰ワッシャーW-C×6枚

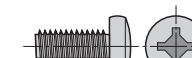
使用ボルト



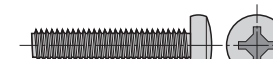
⑱ボルトK×4本 (M4×8)



⑲ボルトM-A×2本 (M5×14)



⑳ボルトM-B×2本 (M6×14)



㉑ボルトM-C×2本 (M6×30)



㉒ボルトM-D×2本 (M8×30)



㉓ボルトM-E×2本 (M8×50)



㉔ボルトW-A×6本 (6×56)

取付けの前に

アンテナや周辺機器との接続に必要なコード類は長さや配線方法を事前に計画・準備してください。取付けた後からでは、テレビの形状や取付け位置によって、接続や配線が困難な場合があります。

各家屋によって床面、天井の構造や強度は異なります。本書に記載してある取付け方法を参考にして、工事業者様が専門的に床面、天井を診断の上、十分な強度を持つ最適な取付け方法を決めて工事してください。

1 テレビにブラケットEを取付けます。

注意 毛布などを下に敷き、テレビへの傷や破損に十分ご注意ください。

注意 テレビに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はテレビの取扱説明書をご参照ください。

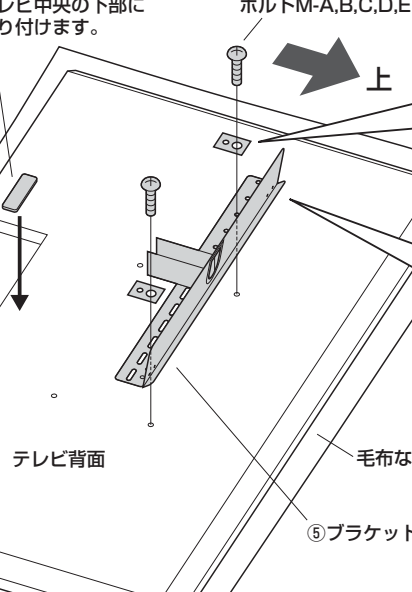
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

※傷防止シートははくり紙をはがして貼り付けます。

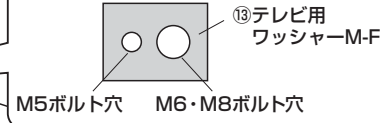
①傷防止シート



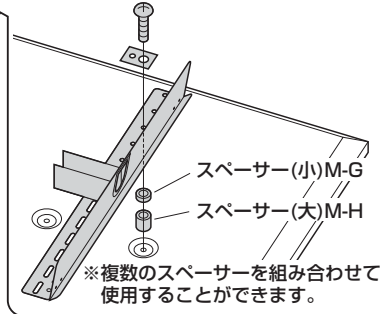
①傷防止シート
※テレビ中央の下部に貼り付けます。



テレビ用ワッシャーM-Fの穴は使用するボルトに合った場所を使ってください。

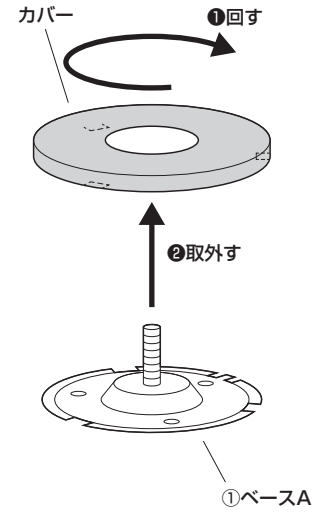


テレビのボルト穴部分にくぼみのある場合、スペーサーM-G,M-Hを使用してください。



注意 ボルトが長すぎるとテレビを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとテレビがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各テレビによって異なります。必ずテレビの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどで確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

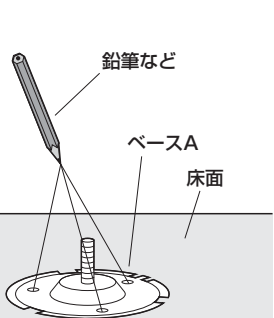
2 ベースAからカバーを取外します。



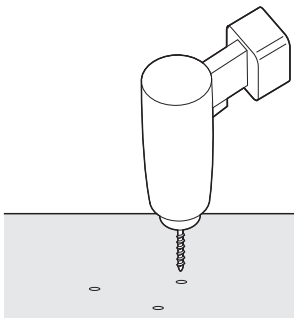
※同様にもう1つのベースAもカバーを取外します。

3 床面、天井にベースを取付けます。

①ベースAを設置する床面に当ててテンプレートにし、取付けの穴を開ける位置3ヶ所に印をつけます。

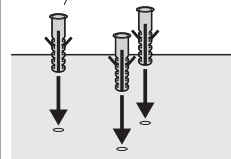


②ドリルを使い、床の印をつけた3ヶ所に直径10mm、深さ約55~60mmの下穴をあけます。

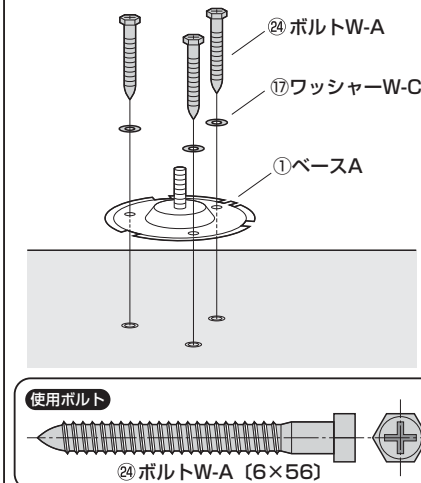


③下穴にアンカーW-Bを差し込みます。

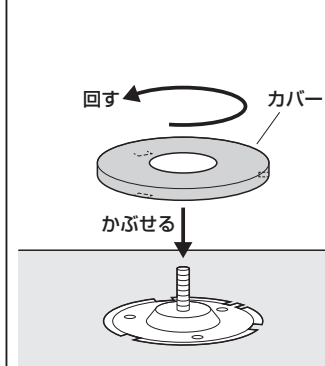
⑥アンカーW-B
※根元まで押し込みます。



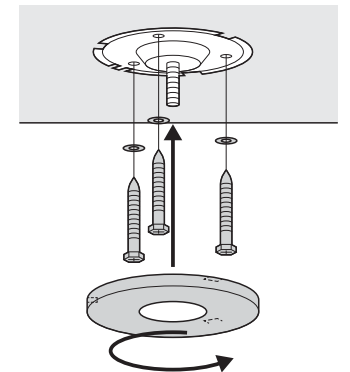
④ボルトW-Aでベースを固定します。



⑤ベースAにカバーを取付けます。



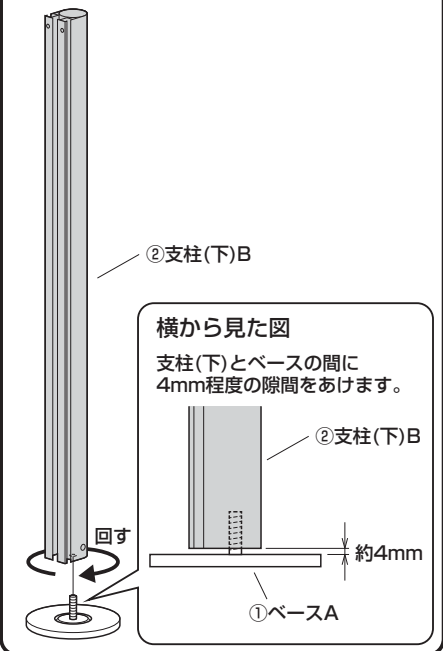
⑧同様に天井にもベースAを取付けます。



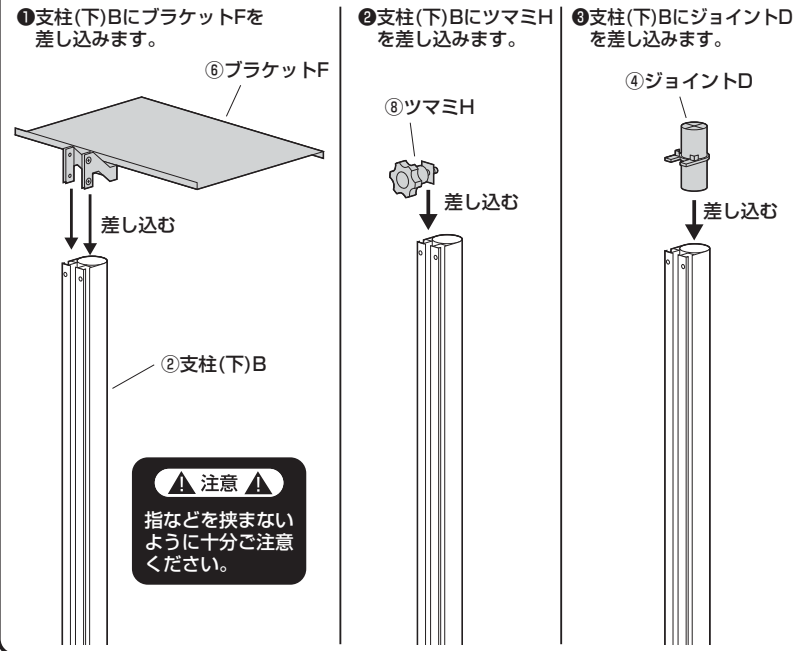
注意

天井のベースは床面のベースAの真上になるように正確に取付けてください。

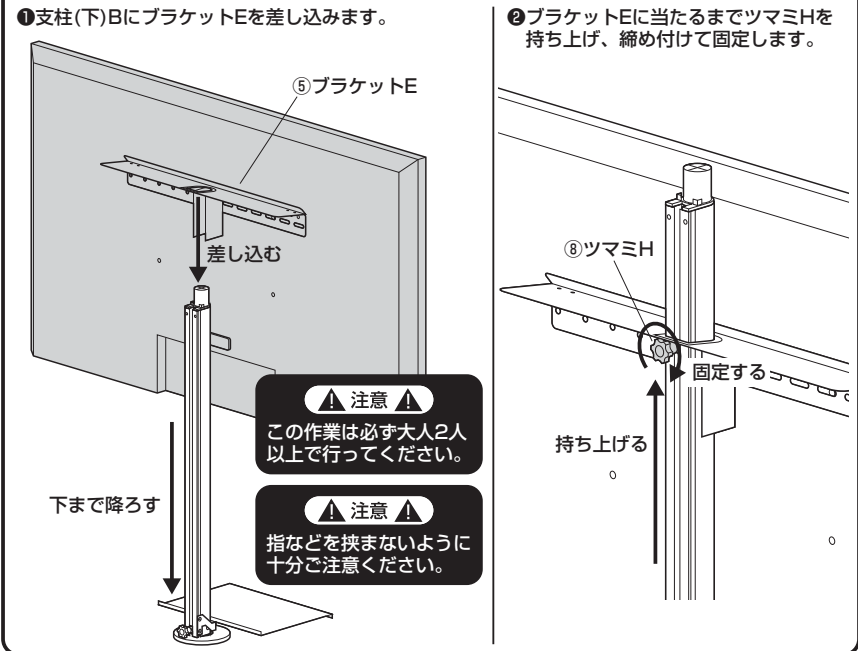
4 ベースAに支柱(下)Bを取付けます。



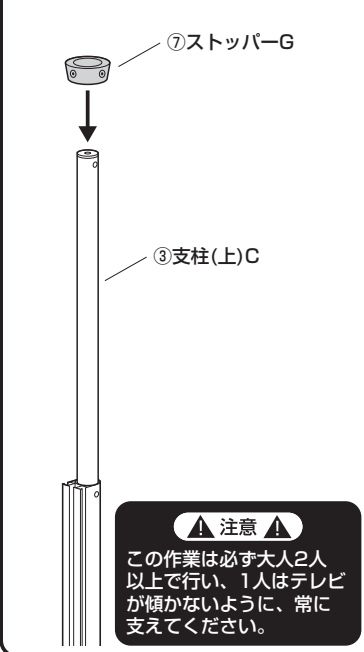
5 支柱(下)BにブラケットF、ツマミ、ジョイントを差し込みます。



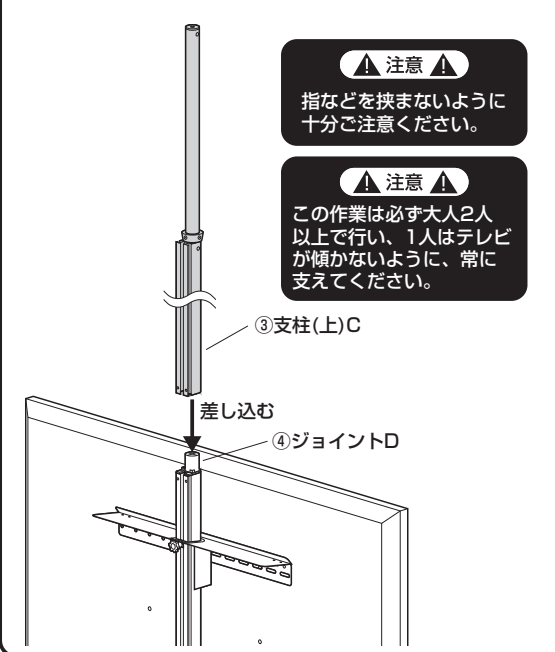
6 支柱(下)Bにテレビを取付けます。



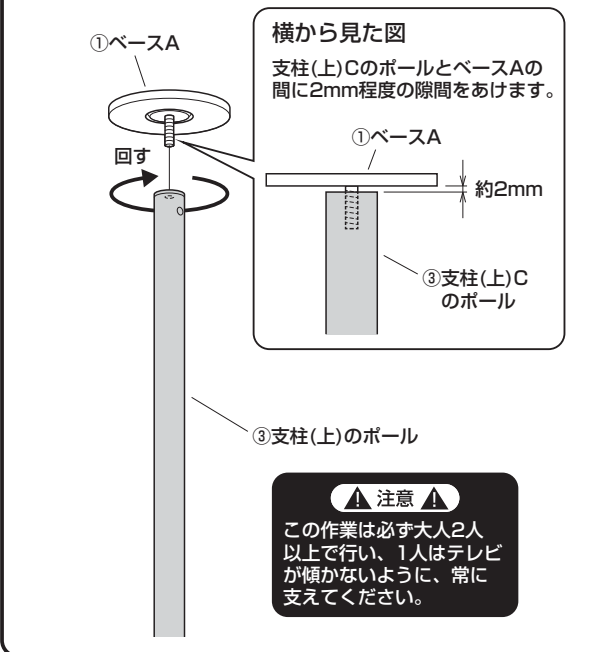
7 支柱(上)CにストッパーGを差し込みます。



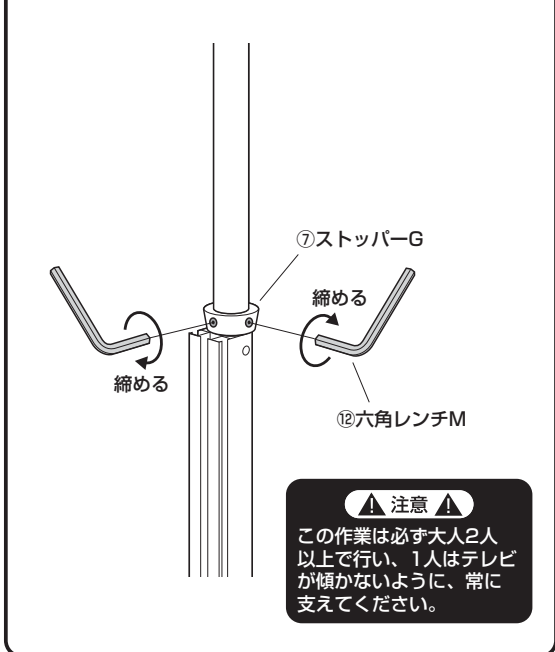
8 ジョイントDに支柱(上)Cを差し込みます。



9 天井のベースAに支柱(上)Cのポールを取付けます。



10 ストッパーGのボルトを締め付けます。



11 テレビの高さを調節します。

①高さ調節

▲注意▲
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

▲注意▲
指などを挟まないように十分ご注意ください。

② ブラケットAに当たるまでツマミを持ち上げ、締め付けて固定します。

⑤ブラケットE
⑧ツマミH
固定する
持ち上げる

③ テレビを支える位置までブラケットFを持ち上げ、左右のボルトをドライバーで締め付けて固定します。

⑥ブラケットF
持ち上げる
ドライバー
締める
締める

12 支柱(上)Cと支柱(下)Bを連結金具Jで固定します。

⑩ボルトK
⑩連結金具J

使用ボルト
⑩ボルトK (M4×8)

13 テレビのケーブルをケーブルホルダーIで止めて完成です。

⑨ケーブルホルダーI
※パチンと音になるまで押し込んで取付けます。

テレビのケーブル
※支柱背面の溝に入れ、ケーブルホルダーで止めます。